

## がん薬物療法計画指示書（肺癌）

主治医（指示医） \_\_\_\_\_

指示日 年 月 日

レジメン名称 キイトルーダ<sup>®</sup> + PEM + CBDCA 療法

【1クールの日数 21日】

1. 治療予定期間 \_\_\_\_\_ 年 月 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 月 日

・実施クール ( ) クール目 / 4クール

尚、この4クール併用療法終了後、キイトルーダ<sup>®</sup>+PEM療法を継続して下さい。

2. 患者情報 診断名 (切除不能な進行・再発の非扁平上皮非小細胞肺癌)

身長 \_\_\_\_\_ cm 体重 \_\_\_\_\_ Kg 体表面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

年齢 \_\_\_\_\_ 歳 sCr \_\_\_\_\_ mg/dL GFR \_\_\_\_\_

3. 使用薬剤・投与量

CBDCA 投与量 ( ) mg/body = AUC × (GFR+25) ;  $GFR = \frac{(140 - Age) \times \text{体重}}{sCr(mg/dL) \times 72}$ 

女性の場合は体重に 0.85 を掛ける

薬剤名	用量	実投与量 (mg)	投与方法	輸液
①キイトルーダ 100mg	200mg/body	200mg (固定用量)	200mg/body	生食 100mL
②ペメトレキセド (100mg : 500mg)	500 mg/m <sup>2</sup>	mg	d. i. v.	生食 100mL
③カルボプラチン (50mg : 150mg : 450mg)	AUC=5	mg	d. i. v.	5%ブドウ糖 250mL

4. 投与レジメン

ペメトレキセド投与による重篤な副作用の発現を軽減するため。

フレスミン S 注射液 i. m.	初回投与 7 日前 ( / ) 以後 9 週毎 ( )	パンビタン末 1g 1×	初回投与 7 日以上前から連日投与 ( / ~)
-------------------	--------------------------------	--------------	-----------------------------

フレスミン S 注射液及びパンビタン末はペメトレキセドの投与中止または終了する場合、最終投与日から 22 日目まで可能な限り投与する。

投与日	投与時間	薬剤	指示受け確認	実施	Dr. 確認
Day1 ( / )	30min	グラニセトロン点滴静注液 3mg バック <sup>®</sup> + テキサト 6.6mg div.			
	30min	生食 100mL + キイトルーダ 200mg div.			
	10min	生食 100mL + ペメトレキセド _____ mg div.			
	1 hr	5%ブドウ糖 250mL + カルボプラチン _____ mg div. (遮光保存)			
CBC・生化学検査は投与日の ( 前日・当日朝 )					

※インラインフィルター (0.2~5 μm) を使用してください。